

# 長万部の

# 教育 コーナー



## 「お正月遊びに挑戦！」 さかえ保育所



## 今、学校では

お正月休みが終わり、子どもたちの元気な声と共にさかえ保育所の2026年がスタートしました。各クラス、福笑いやカルタ取り、手作り凧あげやコマ回しなどのお正月遊びを楽しんでいます。

1・2・3歳児たちも大好きなアンパンマンのカルタに挑戦中です。キャラクターを見て取ったり、ひらがながわかる子は文字を確認しながら取っています。

お正月休みが終わり、子どもたちの元気な声と共にさかえ保育所の2026年がスタートしました。各クラス、福笑いやカルタ取り、手作り凧あげやコマ回しなどのお正月遊びを楽しんでいます。

後もスノコや椅子・テーブルなどを普段の遊びの中で作りながら園庭でたくさん遊んだ後、冬になって園舎内に移築しました。子どもたちの木育活動はクオリティが上がり、ノコギリやカナヅチの使い方はお手の物です。

## 「ミナミナハウス」のそれから マリア幼稚園



今年のクリスマス会ではみんなで作った『ミナミナハウス』が、聖劇の宿屋や劇遊びのお家に変身。愛着のあるハウスを劇に使えたことは、子どもたちにとつても誇らしいことで、劇の場面を引き立ててくれる立派な大道具となりました。この後も冬場は室内、夏場は園庭とハウスは移築を繰り返しながら子どもたちの遊びが広がりを見せてくれることでしよう。2026年も引き続き町の方々、地域の皆様のご理解・ご協力のもと木育活動を広げて参りたいと思っています。本年もよろしくお願ひ致します。

札が取れると「やった！」と大喜び。1歳児の子が札を取ると2・3歳児のお姉さんが「すごいね」と頭を撫でながら褒め、喜びを共感している姿もあります。全ての札を取り終えた後に「何枚取れたかな」と自分の取った

札を「1、2、3…」とワクワクしながら数える姿が可愛らしいです。日本の伝承遊びを取り入れながら、文字や数に触れる機会を増やし興味や関心を深めていきたいと思っています。

札が取れると「やった！」と大喜び。1歳児の子が札を取ると2・3歳児のお姉さんが「すごいね」と頭を撫でながら褒め、喜びを共感している姿もあります。全ての札を取り終えた後に「何枚取れたかな」と自分の取った

札を「1、2、3…」とワクワクしながら数える姿が可愛らしいです。日本の伝承遊びを取り入れながら、文字や数に触れる機会を増やし興味や関心を深めていきたいと思っています。本年もよろしくお願ひ致します。

# 写真で見る学校の様子

## 長万部高等学校



12月9日  
中高合同職業説明会

## 長万部中学校



12月9日  
3年生へ貫通石贈呈式

## 長万部小学校



12月19日  
赤い羽根共同募金贈呈式(児童会)



12月16日  
高校生による政策提言



12月9日  
職業説明会参加(2年生)



12月23日  
八雲小とのオンライン交流会(5年)



12月23日 体育大会



12月15日  
赤い羽根共同募金贈呈式



12月24日  
総合発表会(6年)

## 地域「みんな」で育てる学校をめざして

長万部小学校長 寒河江 孝之

明治生まれで「国民教育の父」とも呼ばれる教育哲学者・故森信三氏が提唱した「躾(しつけ)の三原則」をご存知でしょうか。

「躾の三原則」は、森信三氏の著書に明確な形で示されていますが、講話録や教育現場での伝承を通して広く紹介されてきたものです。そのため、解説や伝え方には多少の違いが見られます。日常生活の中で身に付けたい基本的なマナーとして、学校だけでなく社会に出てからも人間関係を円滑にする大切な内容です。

### 【躾の三原則】

#### 一 挨拶

自分から先に挨拶でいるような子にすること。率先した挨拶の習慣を身に付けることで、円満な人間関係の土台を作ります。

#### 二 返事

名前を呼ばれたら、はつきり返事ができるような子にすること。はつきりとした返事は、素直な心と行動力が身に付きます。

#### 三 後始末

履物を脱いだら必ず揃え、席を立つたら椅子を入れるよう子にすること。自分の行動に責任をもち、けじめのある心を育てます。

先日、校外学習中の児童が、「躾の三原則」の一つである挨拶を地域の方に元気よくしている姿を見かけました。すると、その方が「頑張ってるね」と声をかけてくださり、子どもたちにとっては「地域が応援してくれている」という大きな安心と励ましとなり、こうした地域の方々とのやり取りが子どもたちの心を育てる大切な学びにつながっています。子どもたちは、学校だけではなく地域の方々とのやり取りが、地域、そして学校が互いにつながり、支え合うことで、子どもたちの学びはより豊かになります。長万部町には、自然や歴史、文化、人々の営みなど、子どもたちの学びを深める宝物がたくさんあります。学校運営協議会(Community School)を中心に、地域の教育資源を生んだ学習を広げ、子どもたちが「自ら学び、協働し、未来を創る力」を育めるよう取り組んでまいります。

子ども・保護者・地域・学校が「みんな」で手を携え、子どもたち一人一人に寄り添いながら、魅力ある学校づくりを進めていきますので、引き続き温かいご支援とご協力を願いいたします。